12月号 全家研 月刊ポピー 国語 一口ポイント 教出版

▼今月の『ポピー』の国語で学習するおもな内容と大切なことがらです。

📖の数字は，教科書のページ数です。

1年 スイミー 📖65〜81

●大きな魚を追い出すために、小さな魚たちが活躍する**物語**です。

●場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら読み取ります。

1　小さな魚たちをおそうまぐろ。
2　暗い海の底でのスイミー。
3　まぐろを追い出そうと知恵をしぼるスイミー。
4　一匹の大きな魚みたいになって、まぐろを追い出す小さな魚たち。

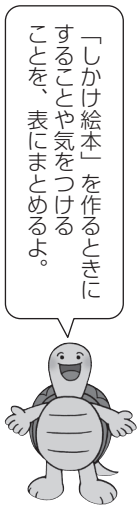
2年 「しかけ絵本」を作ろう 📖59〜69

●「しかけ絵本」の作り方について書かれた**説明文**です。

材料と道具
- しかけの紙とお皿の紙
- サインペン・色鉛筆・のり　など

作り方
1　動物の顔をかく。
2　お皿の紙としかけの紙に食べ物をかく。
3　しかけを作る。

お話を考える
- 考えたことを書き入れる。



3年 モチモチの木 📖33〜53

●峠のりょうし小屋にじさまと二人でくらす、五才の豆太（まめた）の**お話**です。

1　おくびょうな**豆太**は、**じさま**なしで夜中に一人でせっちんにも行けない。
2　今夜は、小屋のすぐ前のモチモチの木に、**勇気**のある子どもしか見ることができない灯（ひ）がともるという。「……それじゃあ、おらは、とってもだめだ……。」
3　その真夜中に、じさまが腹を押さえて苦しみだした……。

4年 ウミガメの命をつなぐ 📖45〜57

●ウミガメ保護の研究を進める名古屋港水族館の取り組みを紹介した**説明文**です。

1　名古屋港水族館は、開館当時からウミガメの研究を進めてきた。
- 館内に人工の砂浜を作って、たまごを産ませる。
- かえった子ガメにタグを付けて放流する。＝放した場所と再びつかまえた場所しかわからない。←

2　背中に送信機を付けて放流することを始める。＝いつ、どこで泳いでいるかがわかる。

5年 雪わたり 📖33〜63

●**子ぎつね**と人間の**子ども**との心温まる交流を、歌のやりとりを交えて描いた**宮沢賢治**の作品です。

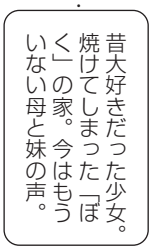
●言葉のひびきのおもしろさや楽しさを味わいながら**朗読**します。

キック、キック、トントン。
キック、キック、トントン。
「きつねこんこん
きつねの子、
去年きつねのこん助が、
焼いた魚を取ろとして、
おしりに火がつき
きゃんきゃんきゃん。」

6年 きつねの窓 📖41〜63

●指でこしらえた窓の中に、今は見ることのできないなつかしい情景が映し出される**ファンタジックな物語**です。

●子ぎつねと「ぼく」の窓に映し出されたものを読み取ります。

子ぎつねの窓…

「ぼく」の窓…